

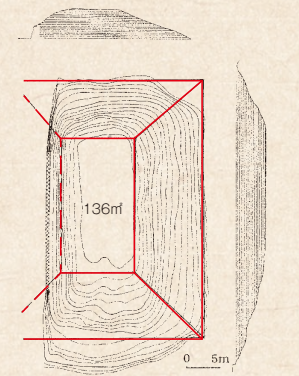
大野命山と中新田命山の比較

伝承の域を出なかった命山の構造を探るための発掘調査を平成14(2002)年10月から12月にかけて実施しました。

大野命山



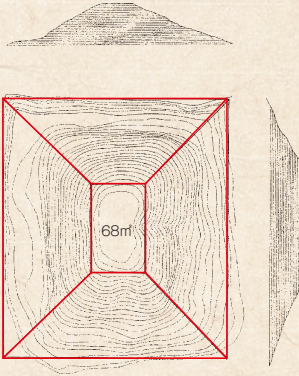
- 規模・形態 南北32m×東西24m×高さ3.5mの長方形
- 土量 約1,500㎡
- 頂上平場の面積 136㎡
- 住所 袋井市大野3435
- 管理者 大野寄木神社総代



中新田命山



- 規模・形態 南北30.5m×東西27m×高さ5.0mの長方形
- 土量 約2,200㎡
- 頂上平場の面積 68㎡
- 住所 袋井市中新田557-1
- 管理者 中新田寄木神社総代



《特徴》

隣同士の村で、ほぼ同時期に築山を築き始めたと推定されるが、両者の形態は異なる。大野命山は頂上の面積を広く取る形態を採用し、中新田命山では高さを確保している。

太平洋に面した静岡県

常に地震への脅威に取り組む静岡県。南海トラフ巨大地震で甚大な被害を被るとされる遠州灘付近にある風光明媚な袋井市も対策を講じています。



■歴史に関するお問い合わせ

袋井市歴史文化館 [浅羽支所内2・3階] ※土・日曜・祝日休館
TEL. 0538-23-9269 〒437-1192 静岡県袋井市浅名1028番地
袋井市歴史文化館ホームページ <http://fukuroi-rekishi.com>

■施設に関するお問い合わせ

袋井市役所 浅羽支所 [市民サービス課・地域支援室]
TEL. 0538-23-9211 〒437-1192 静岡県袋井市浅名1028番地

■防災に関するお問い合わせ

袋井市役所 [防災課防災対策係]
TEL. 0538-44-3108 〒437-8666 静岡県袋井市新屋1-1-1

詳しい情報はここからアクセスしてください

『遠州灘の高潮災害と二つの築山』
— 命山の築造とその周辺 —

『江戸の命山と自然災害の歴史』
— 地震・津波・高潮の歴史 —

袋井の命山

中新田村の命山と云うは
先年申の年大汐の後築玄候地也、…

〔横須賀歴代県元明鑑より〕



先人の知恵を現代の技術で再現

INOCHIYAMA



静岡県袋井市

江戸時代の命山

静岡県指定史跡

命山のはじまり

延宝8(1680)年閏8月6日には、江戸時代最大と言われる台風が全国各地を襲い、大きな被害がありました。

袋井市周辺(浅羽・横須賀地域)の被害を記録した古文書には『百姓伝記』・『横須賀根元歴代明鑑』・『長溝村開発由緒書』があります。『百姓伝記』によると「午前5時頃より風が吹き出し、午前10時ころには高潮が押し寄せ、多くの人馬が死亡、…(中略)…なかでも東同笠村・西同笠村・大野新田・中新田・今沢新田に潮か強く当り、この村では老若男女300人が死亡した。」とあります。

その後「…寛文年中(1661-75)本多越前守殿、浜辺の村々に水塚(命山か)をつかけれるにより、村々の男女心安く居住するなり。」と記されており、延宝8年前後に命山が造られたことがわかります。



江戸時代の浅羽地域の地形

昭和21年撮影の航空写真と30年代の地籍図を基に、「浅羽地域」にかつて存在した川・池・入江などの自然地形と、「大囲堤」や「中畦堤」の位置を復元しました。海岸から北西方に細長く伸びた入江は、高潮被害を大きくする原因となりました。今回復元した図と、貞享3(1686)年に描かれた『浅羽庄水除堤相論裁許絵図』を比較すると、その描写の正確さと、水と戦ってきた地域の歴史を知ることができます。



先人の知恵を現代に受け継ぐ 平成の命山

江戸時代に高潮から身を守るための人工の築山であった「命山」(静岡県指定文化財)が、今も袋井市内の大野地区・中新田地区に残っています。

平成23年に発生した東北地方太平洋沖地震以降、当市において津波から市民を守るための避難施設の必要性が議論される中で、先人の知恵に学びつつ、現代工法による「平成の命山」建設の声が地元住民より上がりました。



湊東地区命山		津波避難タワー	
1,300㎡/1,300人	避難スペース面積/ 収容人数	162㎡/270人	
約1億4,900万円	整備費	約1億1,500万円	
6,433㎡	敷地面積	700㎡	
●耐用年数が長い。 ●収容人数が多い。 ●広い土地が必要。 ●普段でも利用可能。		●耐用年数50年程度。 ●建設費に対して収容人数が少ない。 ●限られた土地でも建設可能。	



きらりんタワー (津波避難タワー)



■住 所	袋井市松原1801-3
■敷 地 面 積	700㎡
■収 容 人 数	270人(大人1人/㎡・子ども2人/㎡を基準)
■避難スペース	162㎡(11×15m)
■地 上 高	9.8m(海拔12m)
■海岸からの距離	約1.3km
■付 属 設 備	太陽光照明18基(最長点灯時間12時間)
■整 備 費	115,392千円
■完 成 年 月	平成24年12月

湊西地区命山



■住 所	袋井市湊219-1
■敷 地 面 積	5,968㎡
■収 容 人 数	300人(大人1人/㎡を基準)
■避難スペース	300㎡(6.5×46m)
■地 上 高	8.1m(海拔10m)
■海岸からの距離	約1.3km
■整 備 費	約3億円(本体部)
■完 成 年 月	平成29年1月(予定)

湊東地区命山



■住 所	袋井市湊557-1
■敷 地 面 積	6,433㎡
■収 容 人 数	1,300人(大人1人/㎡を基準)
■避難スペース	1,300㎡(24×55m)
■地 上 高	7.2m(海拔10m)
■海岸からの距離	約1.3km
■整 備 費	149,201千円(本体部)
■完 成 年 月	平成25年12月

東同笠・大野地区命山



■住 所	袋井市東同笠58
■敷 地 面 積	7,859㎡
■収 容 人 数	300人(大人1人/㎡を基準)
■避難スペース	300㎡(φ17m)
■地 上 高	7.5m(海拔10m)
■海岸からの距離	約1.2km
■整 備 費	約3億円(本体部)
■完 成 年 月	平成29年3月(予定)

中新田地区命山



■住 所	袋井市中新田315
■敷 地 面 積	8,716㎡
■収 容 人 数	400人(大人1人/㎡を基準)
■避難スペース	400㎡(φ20m)
■地 上 高	7.5m(海拔10m)
■海岸からの距離	約1.2km
■整 備 費	208,040千円(本体部)
■完 成 年 月	平成28年3月